

東日本ユニオン よこはま

JR 東日本労働組合
横浜地方本部
発行者/ 松田 和秀
編集者/ 教育・広報部

申1号 第6回定期大会発言に基づく申し入れを行う

2018年8月25日に第6回定期大会を開催し、これまでの総括と向こう一年間の具体的方針を確立しました。

大会発言では、多くの代議員から「安全」「働きがい」など労働条件・労働環境に関する発言があり、更には会社施策の根幹にかかわる内容にまで踏み込んだ発言が出されました。

その中でも特に「安全」「働きがい」については、グループ会社を含めたJR 東日本全体における最重要課題です。

私たちは会社の将来を見据え、共に進みゆく労使として、直ちに議論を行い改善するべきと考えます。出された問題点を早急に解決し、より安全で働きがいのある職場にするために、9月12日横浜支社に下記の通り申し入れを行いました。

【 申し入れ項目 】

- 1、経営協議会（安全分科）を直ちに開催すること。
- 2、菊名駅上り車掌用 ITV をお客様の乗降を分かりやすくし、車掌が安全確認を出来るようにすること。
- 3、南武線川崎駅（6番線）の ITV をお客様の乗降を分かりやすくし、車掌が安全確認を出来るようにすること。
- 4、横須賀線武蔵小杉駅ホーム混雑時の安全対策について、考え方を明らかにすること。
- 5、実行計画におけるワンマン化施策に伴う、車掌の職の在り方について、どの様に考えているか明らかにすること。
- 6、エルダー出向先の職場の労働条件・環境を本体と同等に改善すること。
- 7、広域異動者および地域間異動に伴う東京圏への異動者の社員が希望した場合、エルダー社員として地方支社の出向先の提示をすること。
- 8、川崎運輸区（仮）の構想を早期に提示すること。また社員の働きやすいように意見を聞き取り入れること。
- 9、運転台防犯カメラの考え方・取り扱い方について、明らかにすること。
- 10、通勤モニター制度の最寄駅の考え方について、勤務地到着に30分以上の時間差が出る場合は本人の利用する駅を選択できるような取り扱いにするように、本社に上申すること。
- 11、乗務員勤務制度について、横浜支社としての考えを明らかにすること。

不安のない働きやすい職場環境をつくり出そう！